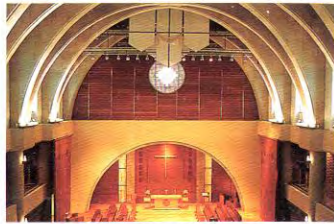


聖マリア礼拝堂

長年にわたり愛されてきた聖マーガレット礼拝堂と並び、本学院を代表するシンボリックの建物です。2000年に改築され、チャペル（礼拝堂）本来の礼拝の場としてはもちろん、講演会やコンサート、観劇などの優れたホールとして活用されています。



聖マリア礼拝堂



礼拝堂内



図書館外観



図書館館内

図書館

校舎に隣接したレンガ色の建物で、静かで落ち着いた雰囲気の中、勉強や調べものに気軽に利用できます。蔵書数は約11万冊、毎年約3,000冊を新たに受入しています。CDやDVDなど約3,000点の視聴覚ソフトを自由に閲覧できるAVルーム、蔵書検索やインターネットが使える検索コーナーなど、充実した設備を持つ情報ライブラリーです。



面談風景

アドバイザー制度とオフィスアワー

科目履修や生活の悩み、将来の進路など学生生活全般にわたって、専任教員が学生の個人的な問題の相談に応じる制度です。少人数で、教員と学生、学生相互の対話や交流を大切にする本学らしい制度といえるでしょう。1クラス（英語科約30名、幼児教育科約20名）に対し、1名の専任教員がアドバイザーを担当します。また、各教員はオフィスアワーを設定し、学生が教員のもとを気軽に訪れることができるよう配慮しています。

自宅外通学生の集い

自宅を離れ、一人で生活するのは何かと不安がつきものです。「自宅外通学生の集い」は、一人暮らしや下宿をしている学生を対象に春と冬の2回開かれ、学生と教職員が夕食を共にします。学生生活についての悩みなどを教職員に自由に相談することができます。新生入生に対しては、自宅外から通学する2年生や専攻科生が、自分の体験に基づいて、生活の知恵や困ったときの対処法などをアドバイスします。本学では毎年約80～100名の学生が自宅外から通学しています。



中庭

キャンパス散策(立教女学院短期大学)



立教女学院は、1877年アメリカ人宣教師C. M. ウィリアムズによって創立され、今日まで129年を越えるキリスト教に基づく質の高い女子教育を実践してきました。立教女学院短期大学は1967年に立教女学院の創立90周年記念事業の一環として、英語科を設置したのに始まります。その後、1970年に幼児教育科を、1972年に専攻科を増設して、今日の2学科・2専攻になりました。

本学院の長い歴史の礎を築いたウィリアムズ主教は、立教女学院（立教大学）の創立者でもあり、全生涯を日本の宣教と教育に捧げ、その類まれなる信仰と人格によって多くの影響を日本に与えました。ウィリアムズ主教の、自分を誇ることなく他者に仕える生き方は、そのまま両学院の教育の理念として現在に伝えられています。



聖マーガレット礼拝堂



ウィリアムズ主教



聖マーガレット

立教女学院短期大学の英語名、St. Margaret's Junior Collegeは、11世紀にスコットランドの王妃となった聖マーガレットにちなんだものです。敬虔なキリスト教徒であったマーガレットは、病人、寡婦など弱者の援助に献身して人々に慕われ、女性の鑑とされました。



礼拝堂内：クリスマス礼拝

聖マーガレット礼拝堂

武蔵野の緑に囲まれたキャンパスの北側、厳かな雰囲気と気品を漂わせた聖マーガレット礼拝堂があります。築70年以上の歴史的建造物で、一歩足を踏み入れると、その荘厳さに圧倒されると同時に学生たちの心安らぐ空間となっています。クリスマス礼拝や卒業式などの学校行事で使用するほか、卒業生が結婚式を挙げたりしています。

立教大学との単位互換制度

本学の学生が、立教大学の全学共通カリキュラムの中の「総合教育科目」が受講できる制度で、取得した単位は、本学の教養科目の単位として認定されます。立教大学のキャンパスで4年制大学の学生と共に学ぶことで、学びのフィールドが広がるとともに、編入学を考えている学生にとっては、4年制大学の雰囲気を一足先に体験できることも大きな魅力です。(本学卒業後、立教大学をはじめ国内外30以上の大学に学長推薦で編入学する道が開かれています。)



授業風景



国際交流センター



ウェスタン・ミシガン大学 (アメリカ：提携校)

国際交流センター

国際交流センターでは、本学の国際交流推進のためのさまざまなプログラムの運営のほか、TOEIC・TOEFLの受験支援や海外留学などのサポートをしています。

本学は、年間6回程度、TOEIC公開テストの試験会場として指定されています。本学が試験会場ですから、学生はいつもの慣れた環境でリラックスして受験できるうえ、センターで申し込みをすると、受験料の補助を受けることができます。例年多くの学生がこの機会を利用し、TOEICを受験しています。また、センターではTOEIC対策のアドバイスや問題集の貸し出しを随時行っています。

国際交流キャンプ

異文化体験やアジアの子どもたちを理解することを目的に実施しています。国際情勢を考慮して、実施国及び地域を決定します。2004

年度は2月上旬に実施し、フィリピンのメトロ・マニラ (ケソン市) を拠点にして、2つの教育施設 (幼児施設) で現地の子どもたちと交流し、異文化理解を深めました。



国際交流キャンプ